

シャッフルボード

人数 1人対1人

2人対2人

シャッフルボードは、専用カーペットの上で、細長い棒（キュー）を使って、円盤（ディスク）をコートの反対側にある三角形の得点エリアにシュートするゲームです。

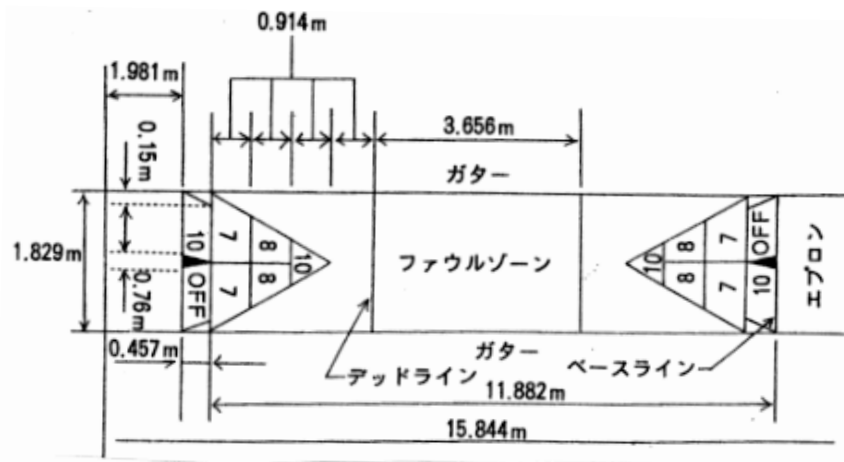
運動量が少ないので、年齢や性別による実力差がほとんど見られません。ビリヤードのように円盤同士のクッションを計算する楽しさがあり、複雑なかけひきが生じる知的なゲームです。

◎用具

- ・シャッフルボードセット
- ・キュー（細長い棒）2本
- ・ディスク8個
- ・コート（下図のような専用のマットを使用）

◎場所・コート

- ・15.8m×1.8m



◎ゲームの

進め方

- ①プレー開始前に先攻、後攻（これをカラーリードという）をじゃんけんで決める。
- ②それぞれのコートヘッドの10-OFFの位置に、自分のディスクを4枚ずつ並べる。先攻（黄色）が右（OFF）、後攻（黒色）が左（10）に置く。並べるときは線に触れないように置く。
- ③先攻からまず1枚のディスクを前方のスコアリングダイアグラムを狙って、キューでシュートする。次に後攻が同じようにシュートするが、この時、相手の得点となっているディスクを狙い、そのディスクをキッチン（10-OFFの位置）に入れるなど、様々な作戦を

講じることができる。

④このように交互にシュートを繰り返して、8枚のディスクすべてがシュートされると1フレームが終わる。得点を計算してスコアボードに記入する。

⑤第2フレームは、第1フレームの反対側から同じ要領で行なう。この時、第1フレームの勝者が先攻を取る。

◎ルール

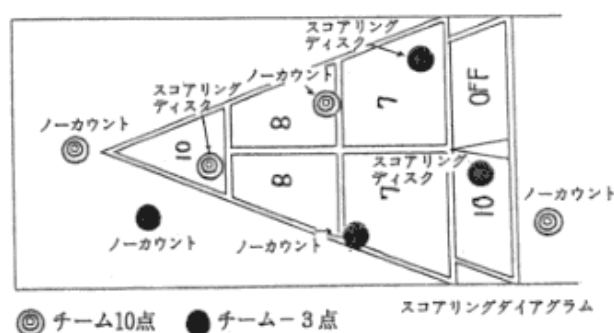
・得点の数え方

スコアリングダイアグラムに入っているディスクが得点対象となるが、少しでも線に触れているとノーカウント。また、キッチン(10-OFF)に入っているディスクは10点減点。

図のようにディスクがスコアリングダイアグラムにあるとき、先攻は10点、後攻は7点だが、後攻はキッチンにも入っているので10点減点となり、結局このフレームの得点は先攻10点、後攻-3点となる。

次に、たとえば第2フレームの得点が、先攻-3点、後攻8点とすれば、第2フレームのスコアボードには先攻7点、後攻5点と記入する。

以降累積してフレームごとの得点を記入していく。



◎勝敗の判定

・勝敗の決め方について（2つの方法）

(1)フレーム制は8・12・16のいずれかのフレーム数を定めて、それぞれの終了時の得点で決める。

(2)ポイント制は50・75・100点のいずれかの点を定めて、先取した方を勝ちとする。

◎シュートの仕方はしっかりとしたスタンスをとって、ディスクをキューヘッドで押し出すようにしましょう。

《日本シャフルボード協会競技規定より》